

オオバタンキリマメ

Rhynchosia acuminatifolia Makino

マメ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

つる性の多年生草本。葉は3小葉からなり、下面には萼と豆果の表面とともに腺点がある。花は黄色。豆果は紅熟し、黒色の種子を2個入れる。タンキリマメによく似ているが、全体に毛がより少ないため緑色が目立つ。また、葉はやや大きくて小葉の長さが10cmにもなり、質が薄く、中央部の幅がもっとも広くて葉先が急に細くなったとがるなどの点で見分けられる。

国内分布

本州(宮城県以西)、九州。

県内分布

内浦区、南加賀区。

生態など

花期は6～9月。豆果は裂開しても種子が莢から離れない。

生育環境

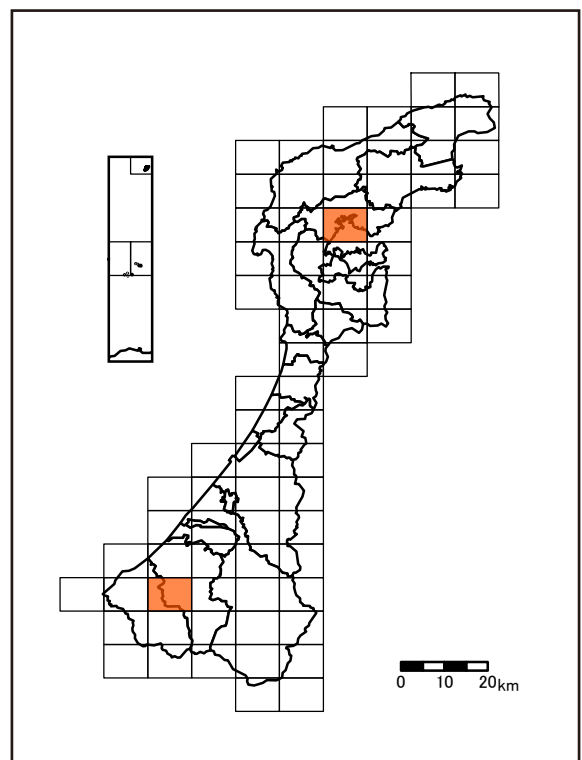
低山地の林縁。

危険要因

土地造成、道路工事、自然遷移、産地局限。



林 二良・2006年12月21日・南加賀



県内の分布